



田町運転区分会より 東京地本に要請書が提出される!

要 請 書

JR 東日本輸送サービス労働組合
東京地方本部 執行委員長 中山 貴宏殿

今回私事ではありますが、この度異動の懲遷を受けました。田町電車区から現在の田町運転区と合わせて26年在籍し、現在の指導担当は12年間頑張ってきました。今までの面談では変わりなく田町運転区での指導を引き続き希望を出していました。しかし今回、区長より「10年以上在籍しており新たな所で成長してほしい」との話がされ、全く希望していない大田運輸区本線運転士への事前通知が出されました。何故、大田運輸区なのかの質問に区長は「居住地が近いから」との回答で全く理解が出来ないものでした。発令が出されて以降、毎日が指導担当の引継ぎをはじめ、新庁舎への移転・ダイヤ改訂・21回生の養成や転入者教育、そして組織の責任者として今後の田町運転区のあり方等、多くの諸問題を抱えてストレスもたまり非常に辛い思いをしています。現在、様々な職場でジョブローテーションによる転動が行われています。色々な職を経験することは本人の成長に繋がるとは思いますが、一番は本人のやりがいを高め、鉄道に必要な安全レベルが必要・不可欠だと思います。しかし、今回の異動の懲遷は田町運転区分会の責任者であり、田町運転区全体を知り尽くし、常に先輩・後輩への思いやりをもち、次回の社員代表に立候補を検討しているこの時期に転出させる行為は、会社からの組織破壊攻撃であり、モノを言わせない職場風土に変えようとしています。今後、私のような思いを他の人にさせない為に、会社には「簡易苦情処理」と同時に、地本に対しては 以下の内容について要請していきますのでよろしくお願い致します。

- (1) 今回の懲遷では会社から十分理解を得られる回答はなされずに事前通知がなされ、非常に遺憾に思います。私や仲間である組合員も同様に家族の生活設計等がある為、会社に対し「異動は自己申告書を重視すること」を求める運動を要請します。
- (2) 私は何をもちて大田運輸区へ発令なのか？区長の回答は曖昧で不十分だと感じました。回答内での問題点として、「あなたは10年以上在籍しており、異動の対象に入っている」「居住地を配慮されたのでは？」としか言わず、会社は異動について「ジョブローテーション」とは一切認めず「通常の転動」で推し進める回答をしています。この間異動についてどのような形で行われてきたのかを説明出来ない会社は、中身が無い単なる組織の弱体化を狙った物であり、組織破壊攻撃です。従ってこの会社施策である「ジョブローテーションという施策は直ちに中止・見直し」を求めます。
- (3) 今回の異動にあたり、組織の責任者であり田町運転区を長年けん引してきた社員を突然異動されると職場での労働運動が停滞すること、また指導担当の技術継承が疎かになり職場内での事象・事故が多発する恐れがあります。従って「ジョブローテーションの中止・見直し」の要請と合わせて、今後「団体交渉権」や「第三者機関」を駆使し「私への異動の懲遷の撤回」を強く要請します。

JR 東日本輸送サービス労働組合
田町運転区分会 執行委員長 林 英司

10月末より東京地本管内の運車職場を中心に、異動の声掛けが行われています。その中で、田町運転区の輸送サービス労組・林執行委員長にも異動懲遷が行われました。林執行委員長は言うまでもなく分会組織を取りまとめる中心人物であり、また、職場においては指導担当として見習い養成や転勤者の教育などを担ってきました。会社は異動の根拠を聞いても納得のいく説明を行わず、「過半数代表者選挙」にも立候補した執行委員長を意図して狙い撃ちとした、見せしめの異動であると指摘せざるを得ません！

**大会で全組合員の信任を受けて選出された
執行委員長の異動は断じて認められない!
田町運転区分会への組織介入そのものだ!
東京地本は提出された要請書を受け、
団体交渉の申し入れを早急に検討します!**